



「愛犬」

古橋 宏章

生後二ヶ月くらいで捨てられていたミニチュアダックスフンドを飼っているのですが、動物観賞は好きだけど飼ったり触ったりするのは嫌いです。愛犬は人間と車が好きで犬と花火・雷など大きな音が嫌いです。賢い部分は「おしっこ行っておいで」と言うと言葉を理解しているのかトイレに行くし、毛布や座布団を引っ張り届かないおやつを捕るし、歯磨きやお風呂になると察して逃げるし、私の髭剃りや歯磨きをすると必ずベッドに前足を引っ掛けるので乗せて上げると足元で寝ます。居ると面白いしぐさで笑いが起き場の空気が変わり和みますが、居ないと静かで変な雰囲気です。何をされても嫌がらずなすがままで慣れてくると可愛い、今では家族の一員です。

人間の身勝手に引っ越し先で飼えず殺処分場に連れて来る方も居るようで神経が理解できません。終期まで面倒を見る覚悟と責任が果たせないなら飼う資格はないと思います。

とうたす通信

発行 あさやけ風の作業所内 とうたす班
〒187-0033 小平市叫島町3-8
TEL 042(349)2366 kaze@asayake.or.jp
<http://www.asayake.or.jp/kaze.html>

No.309
2018年3月20日



僕の家族

亀井 賢太郎

僕の家族は兄弟3人しかいませんが、僕が生まれた頃は7人家族でした。祖父母・両親・そして僕たち3人です。昔はとても賑やかな家族でしたが、祖父母が亡くなり・母が亡くなり・父が亡くなって、今は3人の兄弟しかいなくなりました。でも、姉・弟ともよくやってくれます。だから親がいなくても、寂しいとは思ったことはありません。

人からよく仲がいい家族ですねと言われるのですが、僕は別にそうは思っていないのですが……。昔からこれが当たり前だと思っているからです。でも他人から見れば、仲のいい兄弟だとか家族に見えるのはなぜなのかと、僕からすると不思議に思ってしまう。

時には意見が食い違ったりもするし、言い争う時もあります。でも取っ組み合いのケンカにはなりません。今のところは僕にとって、いい家族だと思っています。でもこの状態がいつまで続くかが、心配でもあり不安に思っています。

★ 特集 ★ 家族



短歌

一、 ショートステイ経験をして小平に住み続けたいと想いは募る
一、 大雪のニュースを聞けば小平の日差しの有難さをしみじみ感じる

竹内 桃子



大切な家族

竹内 桃子



家族とは、私にとって大切な人たち。父は、15年程前に亡くなりました。現在は母89歳と自宅で、おのこの福祉サービスをうけながら、生活をしています。妹は結婚して近くに住んでいます。妹の家族は4人の家族で子供が二人で、現在は高校生で受験なので大変だそうです。母は、いまだに私のことでいろいろと心配しているようです。この間も、夜中に母が二階に上がって来て、「桃子、大丈夫！」と、寝ていた私はびっくりして目を覚ました。

このごろ、失敗ばかりしているので、そのことを母は気付いてか？ また心配かけているようで、私はもっとしっかりしなければと思います。自分でも情けなく涙が出でくるときもあります。障害があるからと言い訳はしたくないです。家族や関わって下さる人たちに心配かけずに、もっと自分の言動に責任を持ちたいです。特に高齢の母には、もう心配かけたくない気持ちでいっぱいです。